

ブドウ科 ヤブカラシ属

ヤブカラシ (藪枯らし)

Cayratia japonica (Thunb.) Gagnep

自生環境

道ばた、野原、林縁 など

原産地

日本在来

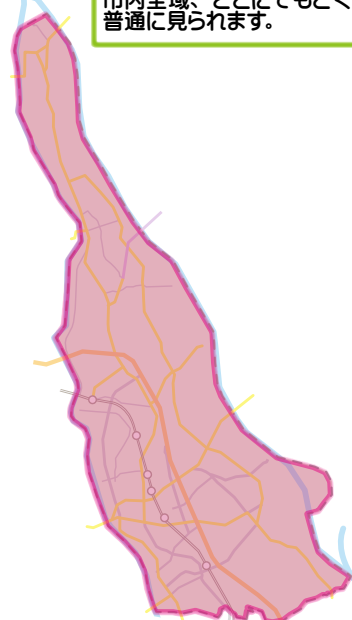
生育を脅かす要因

〔今のところ特になし〕

身近な場所にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域、どこにでもごく普通に見られます。



特徴

- ☆ いたるところにごく普通に生えるつる草で、果実はできませんが地下茎で旺盛に繁殖していきます。林縁や草やぶに覆いかぶさるようにして「草のマント」をつくります。
- ☆ 花には黄緑色の花弁が 4 ~ 5 枚ありますが、開花後すぐに脱落してしまい、花盤と呼ばれる中心付近の橙色の部分が目立ちます。この部分には蜜がたっぷりあるため、チョウやハチなどたくさんの昆虫が蜜を求めてやってきます。スズメバチもよく来ますが、吸蜜中は派手に刺激しないかぎり襲ってくることはありません。
- ☆ つるの成長がはやく、藪をも枯らす勢いで伸びるというのが名前の由来で、雑草として目の敵にされがちですが、日本在来で、地域の生態系にとって欠かすことのできない大切な植物です。

果実はできるの？

野田周辺で見かけるヤブカラシは、花はよく咲くものの、ほとんど結実しませんね。じつはヤブカラシには、果実のできる系統とできない系統があります。果実のできる系統は西日本に多く、野田周辺には自然分布はないと考えられます。ただ、工事などの人為的な影響で持ち込まれることがあるようで、稀に見ることもあります。ヤブカラシの果実は球形で黒っぽく、光沢があります。



葉は 5 枚 1 組のことが多い



花びらは短時間で散る



橙色の花盤は蜜がたっぷり



果実ができない株



果実ができる株

黒くて丸い果実ができる



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

